



ヨハネの黙示録

神の勝利を祝して

PART TWO

 GraceCity
Church Nagoya

目次

- I. 使い方
- II. はじめに
- III. ヨハネの黙示録 12:1-17 → 竜
- IV. ヨハネの黙示録 13:1-18 → 獣
- V. ヨハネの黙示録 15:1-16:21 → 7つの鉢
- VI. ヨハネの黙示録 17:1-18:24 → バビロンの崩壊
- VII. ヨハネの黙示録 19:1-21 → 婚宴
- VIII. ヨハネの黙示録 20:1-15 → サタンの敗北

使い方

グレイスシティチャーチではC.O.M.A. (Context = 文脈、Observation = 観察、Meaning = 意味、Application = 適用) の方法を用いています。この方法を持って聖書箇所に取り組んでいきましょう。私たちは理論に焦点を当てた「議論のための質問」を「応答するための質問」（参加者が聖書箇所の中心テーマと個人的に対話することを求める質問）に置き換えることが適切だと考えています。

文脈 →

1. 周囲の節、段落、章、出来事などに注意を払い、読んでいる箇所が、聖書の中の特定の書物の文脈にどのように当てはまるかを確認してください。
2. この箇所が聖書全体の大きなストーリーにどのように当てはまるのか、つまり、神がイエス・キリストを通してどのように人々を救い、神の御国でご自身の支配のもとに生きていくようにしたか、に注目してください。

観察と意味 →

3. 聖書本文を注意深く観察しましょう。接続ワード（例：「～なので」「もし」「ですから」など）、繰り返し、対話、物語、旧約聖書の引用などの詳細に目を留めましょう。

4. 聖書本文の意味を理解するためには、著者の目的や意図（聖書の著者はなぜこれを書いているのか？）を見極める必要があります。
5. 手助けとなる質問の例：
 - ▶ 誰が、誰に向けて書いていますか？
 - ▶ 著者と読者の状況はどうでしたか？
 - ▶ 取り組むべき問題があり、そちらへ目を向けるようにと促されていますか？
 - ▶ 繰り返されるテーマや、すべてをまとめている一つの主題はありますか？

適応 →

6. 神のことばを心に適用しましょう。「心」に関する良い質問をすることで、単に状況や行動に対処することの先へと進みましょう。例えば、「なぜ私たちはこうするのでしょうか？」「私たちは本当のところ何を望んでいるのでしょうか？」
7. 常に福音を適用に結びつけましょう。例えば、「キリストを知っていることは、私たちの神への従順にどのような違いをもたらすのでしょうか？」
8. 神、私たち自身、キリストにある救い、教会、世界などについて、その箇所が私たちに何を教えているのかを尋ねてみましょう。



はじめに

はじめに

使徒ヨハネは、流刑先のパトモス島からヨハネの黙示録を書いた人物です。宛先はエペソ、スミルナ、ペルガモン、ティアティラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオディキアのアジア地域にある7つの教会でした。ヨハネはエペソで長年働いていたので、彼が見たこの幻についてを自分の管理下にあった教会に伝えるのは自然な流れのように思えます。

より大きな物語の中に位置づける

ヨハネの黙示録に散りばめられた様々な祝福（最初の祝福は1:3、最後の祝福は 22:14）は、この書物の主な目的が終末論的な謎を解くことではなく、苦しんでいる神の民に祝福をもたらすことであることを示しています。神からの祝福は、自分自身から切り離せる贈り物ではありません。神の祝福とは神ご自身なのです。新しい創造において、神はご自身の民とともに「住まわれる」方です（ヨハネの黙示録 21:3）。完璧な黄金の立方体として描写される新しいエルサレム（ヨハネの黙示録 21:15-21）は、神殿の至聖所に通じるものです。これは、新しい創造において、神の民が次のようなことをするようになることを示唆しています。まず、年に一度、大祭司だけが許されたように、神の臨在を直接享受することができるようになります。そして、新たに

創造された世界においては、モーセにも与えられなかった特権が与えられ、神の民は神の御顔を直接見ることができるようになります（ヨハネの黙示録 22:4）。アダムとエバが園から追放された後に始まり、イスラエルが約束の地から追放されるまで続いた、神の前から追放される長く辛い物語は、ついに終わりを迎えるのです。神の民は、新しい創造において神の親密な臨在を喜び、もう二度と追い出されることはないのです。

神の民がこの約束された未来を待ち望んでいる中、ヨハネの黙示録は、偶然に起こることは何もないことを主張します：それはすべての物事は神の主権的な計画によって起こるからです：「イエス・キリストについての黙示。神はこれからすぐに必ず起こるべきことをしもべたちに示すため、これをキリストに与えられた。」（ヨハネの黙示録 1:1）。「預言者たちに霊を授ける神である主は、御使いを遣わして、すぐに必ず起こるべきことをしもべたちに示された」（ヨハネの黙示録 22:6）という注意喚起で、この書物は終わっています。これは神のご意志によるものであるため必ず起こらなければいけません。神の主権的な支配は、現代においても安定した慰めと力をもたらします。神はこの世界のあり方を定めておられます。そのような神はその民の宝であり、その御座は礼拝する御使いや人間の中に置かれています（ヨハネの黙示録4-5）。



竜

ヨハネの黙示録12:1-17

ヨハネの黙示録12:1-17 竜

聖書箇所

ヨハネの黙示録12:1-17

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります — 神は最後に勝利されるのです。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

聖書の始まりの数章において、神は「蛇」と「女」との間に敵意を置きました。(創世記 3:15)。このことと同じことを表す象徴的な描写として、黙示録の12章の中でサタンが「女」の子孫に対して戦いを個人的

に(1-5節)そして集団として(17節)、挑むことが挙げられます。この「女」(1節)はイエスの出生の時を示すような描写(4-6節)そして産まれた子が鉄の杖を持ってあらゆる国の支配を示すこと(5節)を通して、彼の母を示す幻として描かれているようです。イエスの誕生と昇天という事柄に彼の地上での生涯が凝縮されています(5節)。荒野への逃避(6節)は、マリアとヨセフのエジプトへの旅(ヘロデから逃れるため)と、約束の地に入る前のイスラエルの荒野での経験の両方の出来事が思い出されます。どちらも祝福の季節に先立つ霊的な準備期間として描かれています(ホセア2:14参照)。読者である迫害された教会は、この関連性を知り喜んだことと思います。

**子羊の流された血によって、
神の民は福音を証ししつつ、死に
至るまで忠実であることによって、
竜に打ち勝つことができるのです。**

1,260日という日数は、ダニエル書で言及されている3年半(ダニエル書9:27参照)と呼応しています。学者たちはこの言及の意味について議論していますが、この日数が苦難の時期の象徴であることは明らかだと言えます。この苦難の時期の間、女とその子は保護されます。それは、次の聖句に記されている大戦争に備えるためです。

イエスとその死と復活を通して成し遂げられたこと（5節）によって、ミカエルはサタンと彼に従う天使たちを天のおける戦場から追い出すことができます。これらの箇所は、旧約聖書に描かれている天での戦いに関する記述（ダニエル12:7参照）と呼応し、私たちが地上で戦う霊的な戦いにおいて、私たちが孤独ではないことを思い起こさせてくれます。ヨハネが「私たちの兄弟を告発する者」が投げ落とされた（10節）と言うのは、サタンが神の民を告発するために天にいたことを指しています（ヨブ記1-2章、ゼカリヤ書3:1-2参照）。しかし、イエスが死んでよみがえられた今、サタンはもはや神の前に立つことはできません。サタンの告発は無効となり、彼は地に投げ落とされます（9節）。子羊の流された血によって、神の民は福音を証ししつつ、死に至るまで忠実であることによって、竜に打ち勝つことができるのです。

観察と意味

1. 第七のラッパの後、ヨハネは天でどのようなしるしを見ましたか（1節）？ヨハネは、その幻の中の女をどのように描写していますか（2節）？ヨハネは天でどんな第二のしるしを見ましたか（3節）？第七のラッパの後、ヨハネは天でどのようなしるしを見ましたか（1節）？ヨハネは、その幻の中の女をどのように描写していますか（2節）？ヨハネは天でどんな第二のしるしを見ましたか（3節）？

2. ヨハネが幻を見ている間、天では何が起こっていましたか（7節）？竜とその天使たちはどうなりましたか（8節）？竜はどんな名で呼ばれていますか（9節）？天からの声は何を告げましたか（10節）？天からの声によると、サタンはどのように倒されたのでしょうか（11節）？地と海にはどのような警告が発せられましたか（12節）？
3. 竜が女を滅ぼそうとした時、何が起こりましたか（12:13-13:1）？竜が女を殺せなかったとき、その破壊の力の矛先をどこに向けましたか（12:17-13:1）？

適応

- サタンはどのような方法であなたを非難し、貶めようとしていると思いますか？
- サタンが「投げ捨てられ」（9節）、その非難がもはや神の前に何の立場も持たないということは、あなたにとってどういう意味を持ちますか？
- あなたがサタンの非難に打ち勝つ方法と、その過程で子羊の血が果たす役割を説明できますか？



獣

ヨハネの黙示録13:1-18

ヨハネの黙示録13:1-18

獣

聖書箇所

ヨハネの黙示録13:1-18

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります — 神は最後に勝利されるのです。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

サタンは、キリスト教の福音を真似たものを使って、[女の子孫]である者たち（黙示録12:17参照）に対する戦いを進めている。この偽の福音は、父なる神の代わりにサタンの地位を確立することを意図しています（黙示録12:17; 16:13）。

- I. イエス・キリストの代わりに獣（3節）
- II. 聖霊の代わりに偽預言者（12節）
- III. 聖霊によって証印を押された者の代わりに、獣の刻印を押された者（16-18節）

ヨハネは、福音を信じる者たちがサタンとの戦いの中にあっても、福音の証を保ち続けることができるように備えています。このことによって悪魔の計画の幕を下ろすことを通してこれを行うのです。

黙示録12:6に記されている事柄を完全に未来のことだと解釈する人は、黙示録13章に記されてることに似ている未来の出来事を探し求めるでしょう。ヨハネの黙示録12章6節の記述を、あらゆる時代における教会の戦いを表していると考え人にとっては、この箇所を、イエスの再臨と最終的な勝利まで、信者が常に直面する霊的な戦いになぞらえて考えることでしょう。

真の三位一体

The real trinity(1:4-5)

屠られた姿で立つ子羊

lamb standing as though slain (5:6)

聖徒達の刻印

sealing of the saints (7:2-3)

白を纏った花嫁

bride in white (19:7-8)

偽りの三位一体

The false trinity (16:13; 20:10)

致命的な傷が癒やされた獣

beast with mortal wound healed (13:3)

獣の刻印

mark of the beast (13:16-18)

紫と緋色を纏った売春婦

prostitute in purple and scarlet (17:1-6)

この霊的戦争において、神は子羊を持ち（黙示録5:6）、サタンは獣を持っています（黙示録13:1）。子羊とは神を現すイメージです。獣は竜の姿を表すイメージであり、七つの頭と十本の角を持っています（黙示録12:3; 13:1）。子羊は「屠られたように立っていました」（黙示録5:6）が、今やサタンもまた偽のキリストのような姿（「剣の傷を受けながらも生き返った」獣）で諸国民を欺いています（黙示録12:9; 13:14）。

- 黙示録5:15-14では、すべての天の軍勢と天と地のすべての生き物が子羊を賛美しました。
- 13:3-8では、全地は、その頭が「打たれて死んだと思われたが、その致命的な傷は治った」獣を驚嘆し崇めました。

生ける神に向けてのみ語られるべき言葉が、冒瀆的にサタンの獣に語られました（4節）。神は、ご自分のために記録された人々をサタンの惑わしから守ることができます（8節）が、そのための手段の一つが、ヨハネを通してこの箇所です。サタンの計画を知らせることなのです。ヨハネ自身、読者に対して、彼らの苦しみさえもあらかじめ定められていることだと警告しています。このことを知らせることによって、ヨハネは読者に信仰と忍耐の生活を呼びかけているのです（10節）。

ヨハネは、他の箇所（第1ヨハネ2:18参照）では言葉にしていたことを、別の形で表現し描いています。獣は一見してイエスのような子羊に見えるのですが（11節）、サタンのように、そして竜のように語ります（9節）。これは、「羊の衣をまとっているが、内心は貪欲な狼である」（マタイ7:15）者たちに惑わされないように、という信者たちへの警告なのです。ヨハネは、キリスト教の福音を伝えると言いながら、実際にはサタンのメッセージを宣べ伝える者たちについて教会に警告しているのです。ヨハネは、サタンに属する偽物が、ヨハネの黙示録11章5節で二人の預言者が行ったのと同じような、強力なしるしさえ行うかもしれないと警告しています。—それは 火を天から降らせることも含まれます（13節）

クリスチャンは、偽りの福音とそれを宣伝する偽者に警戒し、だまされないように注意しなければなりません。サタンと偽りの三位一体（14節）は地上に住む人々を惑わすのですが（黙示録12:9; 13:7）、いつの日かイエスが来られ、諸国民を惑わす彼らの力に終止符を打たれます（黙示録20:1-3）。それまでは、たとえ売り買いができなくなろうとも（17節）、殺されようとも（10、15節）、信者は耐え忍ばなければならないのです。たとえ何が起ころうとも、私たちにはイエス・キリストが共におられます！

たとえ何が起ころうとも、私たちにはイエス・キリストが共におられます！

観察と意味

1. ヨハネが見た獣はどのような姿をしていましたか (2a節)？ 竜 (サタン) は獣に何を与えましたか (2b節)？ 獣の頭の一つについて何か変わったことはありますか (3節)？ 世の中は獣にどのような反応と反応を示しましたか (4節)？
2. 獣はどのくらいの期間、権威を持っていましたか (5節)？ 獣はどのようなことを語りましたか？ (5-6節)？ 獣はその権威を何のために用いましたか (7節)？ 誰が獣を礼拝するようになりますか (v.8)？ ヨハネは聞く耳を持つ人々に対してどのような警告をしていますか (9-10節)？
3. ヨハネはどのように第二の獣を描写していますか (11節)？ 第二の獣は、地上の住民に何をさせましたか (12節)？ 第二の獣はどんなしるしを行いましたか (13節)？ 第二の獣はどのように人々を惑わしましたか (14a節)？ 第二の獣は、人々にどのような悪い行いをさせましたか (14節b)？ 獣は、獣の像に関連して、その悪魔的な力をどのように使いましたか (15a節)？ 獣の像を拝むことを拒んだ人々はどうなりましたか (15節b)？
4. 獣は、生きているすべての人に何をすることを強いたのでしょうか (16節)？ 右手や額に印を押されることを拒んだ者には、どのような結末が待っていましたか (17節)？ ヨハネは、どのようにして「獣の数を計算する」ことができると言いましたか (18節)？

適応

- イエス・キリストを信じているがゆえに殺される (殉教する) ことは、他の国の人だけに起こることのように思えるかもしれませんが (15節)。信仰のために死んでいく人々に関するどのような話が、自分の信仰のために立ち上がることの意味について私たちの目を開きますか？
- サタンは人々を支配し、彼らの忠誠を得るために、経済 (売買能力) をどのように利用するのでしょうか (17節)？
- ヨハネは読者に忍耐するように呼びかけています (10節)。あなたが耐え続け、神だけを礼拝し続けるために踏むべき次の一歩は何でしょうか？



7つの鉢

ヨハネの黙示録15:1-16:21

ヨハネの黙示録15:1-16:21

7つの鉢

聖書箇所

ヨハネの黙示録15:1-16:21

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります。神は最後に勝利されるのです。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

鉢に伴って起きる裁きは災害と呼ばれています (15:1)。それは、災害が起こることによってもたらされる解放が、イスラエルのエジプトから

の解放を成就させるからです。モーセの歌 (15:3) は、今や子羊の歌となりました--イエスが新しい出エジプトにおいて過越の子羊として死なれたからです。この新たな [出エジプト] は、一つの国 (イスラエル) だけでなく、すべての国々を解放することになります (15:4)。すべての国々は贖いの神を礼拝するようになるのです (黙示録5:9-10; 7:9-10)。

あかしの幕屋 (15:5) は、モーセが神と会った天幕を思い起こさせます。しかし、ここで出てくる幕屋は天にある幕屋であり、モーセの天幕はその影に過ぎなかったのです。あかしの幕屋 (15:5) は、モーセが神と対面した天幕を思い起こさせます。しかし、ここで出てくる幕屋は天にある幕屋であり、モーセの天幕はその影に過ぎなかったのです。幕屋の完成時に部分的に描かれたこと (出エジプト40:34、1キング8:10-11参照) は、神がご自身の栄光で世界を満たす準備をされる時に成就するのです (15:8) 鉢とラッパは、エジプトへの災害の成就であるという点で、共通しています。例えば最初の鉢による傷 (16:2) は、第六の災いの傷 (出エジプト9:10) と一致しています。エジプトへの最初の災い (出エジプト7:17-21) と同様に、第二と第三の鉢では水が血に変わりました (16:3-7)。第九の災い (出エジプト10:21-29) のように、第五の鉢は暗闇をもたらします (16:10-11)。第七の鉢に伴う雹 (16:17-21) は、第七の災いの雹 (出エジプト9:13-35) と一致しています。これらの鉢を通して、神は民を救い、敵に裁きを下しているのです。

観察と意味

1. ヨハネは天でどのようなしるしを見ましたか (15:1a) ? なぜヨハネはこれらの災害を「七つの最後の災害」と呼んだのでしょうか (15:1b) ? ヨハネは、自分に啓示された天の部分をどのように描写しましたか (15:2a) ? ヨハネはどのような人が自分の前に立っているを見ましたか (15:2b) ? 天にいる聖徒たちは何をしていますか (15:3a) ? 「モーセの歌」の中で、神のどのような性質が賛美されていますか (15:3b-4) ?
2. ヨハネは聖所から出てくるどんな生き物を見ましたか (15:5-6) ? 七人の御使いには何が与えられましたか (15:7) ? 七つの災いが終わる前に、聖所でどのような出来事があったのでしょうか (15:8) ?
3. ヨハネは天の神殿から何を聞きましたか (16:1a) ? 大きな声は七人の御使いにどのような指示を与えましたか (16:1b) ?
 - i. 第一の御使いが鉢を注いだ時、何が起りましたか (16:2) ?
 - ii. 第二の天使が鉢を空にした時、何が起りましたか (16:3) ?
 - iii. 第三の御使いが鉢を注いだ後、何が起りましたか (16:4) ? 水をつかさどる天使は、注がれる裁きについて何と言いましたか (16:5-7) ?

- iv. 第四の鉢にはどのようなさばきが含まれていましたか (16:8-9) ?
- v. 第五の御使いが鉢を注いだ時、何が起りましたか (16:10-11) ?
- vi. 第六の御使いのさばきはどこに向けられたましたか (16:12) ? 三人の悪霊は何をしましたか (16:13-14) ? この裁きの最中に、どのような祝福が宣言されましたか (16:15) ?
- vii. 第七の御使いが裁きの鉢を注いだ時、その結果はどうなりましたか (16:17-21) ?

適応

- 神を賛美するにはどのような方法がありますか?
- 神のどのような性質に特に目を向けがちですか? また神の性質の中で忘れがちなものがありますか?
- なぜ神の性質の中でも他よりも受け入れやすい性質があると思いますか?



バビロンの崩壊

ヨハネの黙示録17:1-18:24

ヨハネの黙示録17:1-18:24

バビロンの崩壊

聖書箇所

ヨハネの黙示録17:1-18:24

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概念

神は「今おられ、昔おられ、やがて来られる方」（黙示録1:4）と表現されていますが、この箇所では獣が底なしの穴からよみがえろうとしている者と表現されています（17:8）。獣は神になろうとしますが、神とは違い、獣は滅ぼされることとなります。救いへと導くのは

本当の福音だけであり、いのちの書に名を記されていない地上の住人は最終的に獣を拝むことになるかと書かれています（黙示録13:8; 17:8参照）。ヨハネは、神がご自身の民を欺きから守られることを思い起こさせ、また読者を励ましています。子羊が打ち勝つ時（17:14）、私たちが目にするのは彼とともにいる者たちが「召され選ばれた忠実な者達」だということです。イエスはご自分の民を救い、選び、ご自分のもとに呼び寄せ、ご自分に忠実であり続けることを可能にされました。


旧約聖書のイスラエルが捕囚状態にあったとき、預言者たちは、バビロンへの追放から神の民が帰還する新たな出エジプトについて語りました。私の民よ...彼女から出ていきなさい」（18:4）という言葉は、イザヤの言葉を反映しています（イザヤ48:20参照）。怒りの鉢で始まった出エジプトの成就是、（バビロン陥落を祝うように）追放からの帰還をもたらすからです。神の民はバビロンから出てきて（18:5、20、24）、新しいエルサレムに向かって旅立ち（黙示録21-22）、その間バビロンの罪に巻き込まれないようにするのです（18:4）。福音と聖なる生活以外に人々が選ぶものはすべて消し去られます（18:9-24）。かつて壊れた世界から聞こえていた表面的な喜びは、もう聞こえなくなるのです（18:22-23）。

観察と意味

1. 七人の御使いの一人はヨハネに何を示しましたか (17:1) ? 御使いは「大淫婦」の悪をどのように描写していますか (17:2) ? 御使いに連れて行かれた時、ヨハネは何を見ましたか (17:3) ? ヨハネはその見た女をどのように描写しましたか (17:4-5) ? ヨハネは見た女について、何を語っていますか (17:6) ?
2. 御使いはヨハネに何を説明しましたか (17:7) ? なぜ世界中の人々は獣に驚くことになるのでしょうか (17:8) ? これから起こる出来事を考慮する時、人々は何を必要としているでしょうか? (17:9a)。御使いは、獣の七つの頭をどのように説明しましたか (17:9b-11) ? 獣を覆う十本の角について、御使いはどのように説明しましたか (17:12) ? 十人の王たちはどのような行動を取り、その結果はどうなりますか (17:13-14) ? ヨハネが見た女が座っていた水の意味は何ですか (17:15) ? 獣、十人の王、淫婦の間にはどのような関係があるのでしょうか (17:16-18) ?
3. ヨハネはどのような驚くべき光景を見たのでしょうか (18:1) ? 御使いはどのような宣告をしましたか (18:2) ? なぜ御使いは、バビロンが裁かれると言ったのでしょうか (18:3) ? 天からの声は何を伝えたいのでしょうか (18:4) ? 御使いは、バビロンの罪に関して、具体的にどのような裁きのメッセージを伝えましたか (18:5、8) ? バビロンの滅亡は、全地の支配者や商人にどのような影響を与えますか (18:9、11、15) ? 御使いは、天とその住民にどのような指示を与えましたか (18:20) ?
4. バビロン崩壊の幻が終わりに差し掛かったところで近、力ある天使は何をしましたか (18:21a) ? その力ある天使の行動は何を示していましたか (18:21b) ? バビロンはどのように裁かれるのでしょうか (18:22-23) ? バビロンにはどのような暴力の象徴がありましたか (18:24) ?

適応

- バビロンは何を象徴していると思いますか?
- バビロンが「投げ捨てられ」、「もはや決して見いだされない」 (18:21) と知るとはあなたにどんな影響を与えますか?
- お金などについて物事を正しく考えるために、今日できる全身のための一歩は何でしょうか?



婚宴

ヨハネの黙示録19:1-21

ヨハネの黙示録19:1-21 婚宴

聖書箇所

ヨハネの黙示録19:1-21

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります — 神は最後に勝利されるのです。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

結婚とは、究極的にはキリストと教会のことを指し示しています（エペソ5章参照）。この箇所では子羊の婚礼の時が来ました、神の民

（黙示録14:4では比喩的に処女と呼ばれている）は、上質の麻布をまとった花嫁なのです。上質の麻布は正しい行いを象徴しています（19:7-8）。黙示録におけるそのような行いは、「神の言葉とイエスの証」に対する忠実さを指しています（黙示録1:2, 9; 6:9; 11:7; 12:11, 17; 14:12; 19:10; 20:4）。これらは、真の福音と、偶像崇拜と性的不道德の拒絶について言及しています。

ついにこの物語の中でイエスは、敵の裁きを通して民を救うために来られました。獣とは違って、イエスは「忠実で真実」（11節）な方です。イエスは罪を知らないため、救うことができ（2コリント5:21）、信頼に値する方法で統治されます（11節）。その口から出る剣で敵を打ち倒します（21節）。戦いはまだ始まっていないので、血の滴る衣をまとった彼の姿は、十字架上の死を指しているように思われるでしょう（13節）。人々はイエスの血によって救われるか、自分の血で罪を償うかのどちらかしかないのです。ヨハネはこの箇所では迫害されているクリスチャンたちに向けて、信仰を守ること、偶像礼拝を拒否すること、神の命令を守ること、性的不道德を避けることを勧めています。

ヨハネは獣と偽預言者が捕らえられ、生きたまま火の池に投げ込まれる様子を描いています（20節）。ヨハネは、このような欺く者たちはいつか裁かれるという確信のもとに、信者を力づけようとしているのです。欺きに対して警戒を怠らず、真理を堅持するよう、信者一人一人に力強く訴えています。

観察と意味

1. ヨハネが天から聞こえてきた大きな声は何だったのでしょうか (19:1)? なぜ天の住人は神を賛美していたのでしょうか (19:2)? 神に最も近い被造物はどのように行動しましたか (19:4)? 御座からの声は何を促しましたか (19:5)?
2. 大群衆はどんな理由で全能の主を祝ったのでしょうか (19:6)? 花嫁はどのような方法で天の婚礼の準備をしたのでしょうか (19:7-8a)? キリストの花嫁が身に着けていた上質の麻布の意味は何でしたか (19:8b)? 「幸いだ」と呼ばれるのは誰でしょうか (19:9)? ヨハネは御使いの指示にどう答えましたか (19:10a)? 御使いはヨハネに何を教えていたのでしょうか (19:10b)?
3. 幻のこの部分が展開し始めたとき、ヨハネは天で何を見たのでしょうか (19:11a)? ヨハネが見た人の名は何ですか (19:11b)? 白馬の乗り手はどんな人でしょうか (19:12-13)? 誰が白い馬の乗り手に従いましたか (19:14)? 乗り手の口について、ヨハネは何に注目していましたか (19:15)?

4. 神の大宴会で鳥たちに出されるメインディッシュは何でしょうか (19:17-18)? どのような戦いが起こりましたか (19:19-21)? 誰が白馬の乗り手と戦い、その結果はどうなりましたか (19:19-21)? 誰が集まりましたか (19:19)? 獣と偽預言者はどうなりましたか (19:20)? 獣に従った残りの者たちはどうなりましたか (19:21)?

適応

- イエスと教会との関係が結婚と表現されることには、どのような意味があると思いますか?
- 神は誰を子羊の婚宴に招かれますか?
- 信仰者が神の目から見て「白く清く」あることができるのはなぜだと思いますか?

**ヨハネはこの箇所では迫害されている
クリスチャンたちに向けて、信仰を
守ること、偶像礼拝を拒否すること、
神の命令を守ること、性的不道徳を
避けることを勧めています。**



サタンの敗北

ヨハネの黙示録20:1-15

ヨハネの黙示録20:1-15

サタンの敗北

聖書箇所

ヨハネの黙示録20:1-15

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります — 神は最後に勝利されるのです。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

サタンは、これ以上諸国民を惑わさないために、千年間捕らえられ、縛られます (1-3節)。サタンが縛られている千年の間、サタンが諸国民を欺いている間に殺された者たち (黙示録11:7; 13:7, 15) は死者の中からよみがえり、イエスと共に世を治めることとなります (4-6節)。福音を信じ、迫害の中でも福音に忠実であった人々 (黙示録11:1-14; 12:1-13; 17:1-18参照) は、この箇所で、死者の中からよみがえり、報いを受けています。受ける報い (黙示録20-22章) は、打ち勝った者により与えられた約束 (黙示録2-3章) によって決まります。

最後の反乱の後 (7-10節)、死者は自分の行ったことに応じて裁かれます (12節)。この裁きは、神の宇宙の道徳的秩序に沿ったものであり、恵みの福音と矛盾するものではありません。同じ節には、救われた人々の名前が記された命の書について書かれています (15節)。彼らの救いの責任は、(信者の行いではなく) 命の書に彼らの名を書き記した神にあるのです。私たちは、「神のことばとイエスのあかし」を信じる信仰によって、恵みによって救われます (黙示録1:2, 9)。救われた者は、イエスを信じる信仰によって罪に「打ち勝った」のです (第1ヨハネ5:4-5)。彼らは子羊の血で洗って天の衣を白くし (黙示録7:14)、その冠は栄光を受けるべきイエスの足元に投げられます (黙示録4:10-11)。同時に、真に救われた者は、患難を経てもなお、忠実さをもって新しくされた生活を通して、恵みによる救いをはっきりと示しているのです (黙示録7:14)。

観察と意味

1. ヨハネは御使いが何を運んでいるのを見ましたか (20:1) ? 御使いは誰をつかまえたのでしょうか (20:2) 御使いは竜に何をしましたか (20:3) ? ヨハネは幻の中で他に何を見ましたか (20:4a) ? なぜ何人かの信者が死んだのでしょうか (20:4b) ? ヨハネが見ていたとき、殉教者たちはどうなりましたか (20:4c) ? 残りの死者はいつ復活するのでしょうか (20:5) ? 最初の復活でよみがえった人々は、どのように幸いな者として祝福されますか (20:6) ?
2. イエスと聖徒たちの千年の支配の後には何が起こるのでしょうか (20:7) ? サタンは牢から釈放された直後に何をしますか (20:8) ? ヨハネの幻の中で、サタンは神との戦いでどのような戦いの計画に従っていたのでしょうか (20:9a) ? 神はどのようにしてサタンの軍勢を打ち破られますか (20:9b) ? サタンは敗れた後、どこに投げ込まれたのでしょうか (20:10a) ? サタン、獣、そして偽預言者は、最後の目的地で何を体験しますか (20:10b) ?
3. 黙示録のこの部分は、どのような特別な幻から始まりますか (20:11) ? すべての人の最後の審判はどこで行われるのでしょうか (20:12a) ? 時の終わりに、人々はどのような根拠に基づいて裁かれますか (20:12b-13) ?

4. 死とよみはどうなりますか (20:14) ? いのちの書に名前がない人はどうなるのでしょうか (20:15) ?

適応

- 神がサタンを縛り、そして解き放った意味は何だと思えますか ?
- サタンに惑わされないためにはどうしたらいいのでしょうか ?
- どのようにして、人はいのちの書に自分の名を記されると思えますか ?

**ヨハネにとっての「打ち勝つ」とは、
人間の努力の結果ではなく、
イエス・キリストの御業を
信じる信仰の結果なのです。**

<https://www.gracecity.jp>

